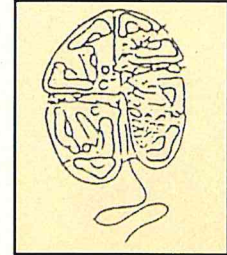


赤潮警報第3号(第4報)

令和5年(2023年)6月23日
山口県水産振興課

漁業者の皆様へ 徳山湾でカレニア ミキモトイが 発生しています!

調査日	令和5年(2023年)6月23日(金)
発生海域	徳山湾
赤潮構成種	カレニア ミキモトイ (<i>Karenia mikimotoi</i>) (好適水温: 22~27°C、好適塩分: 20~30psu)
着色海域の色	暗褐色



大きさ: 25~35μm×23~33μm

調査結果			
観測場所	細胞数		備考
	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ(参考)	
下松市笠戸島(深浦)	0個/ml	0個/ml	22.0°C-水深0m
下松市笠戸島(落)	1個/ml	1個/ml	23.1°C-水深0m
下松市栽培漁業C前	0個/ml	0個/ml	22.1°C-水深0m
櫛ヶ浜港	3個/ml	0個/ml	22.0°C-水深3.0m
徳山港(周南地方卸売市場水産物市場前)	338個/ml	0個/ml	22.5°C-水深2.0m
山口県漁協新南陽市支店前	0個/ml	0個/ml	24.0°C-水深0m

特記事項
ヘテロシグマ アカシオ 【赤潮注意報: 5,000個/ml以上、赤潮警報(魚類へい死目安): 50,000個/ml】 ○本種は、水深の浅い海域では上下動を繰り返し、日中は表層に、夜間は底層に濃密に滞留します。 ○本種は、日中は光合成による過飽和酸素状態に、朝方は増殖・呼吸等による貧酸素状態にさせて、魚類をへい死させる有害プランクトンです。 ○本種赤潮の主な発生時期は、5~7月(梅雨時期)と10月(秋雨時期)です。
カレニア ミキモトイ 【赤潮注意報: 100個/ml以上、赤潮警報(魚類斃死目安): 5,000個/ml】 ○本種は過去、 本県で最も大きな漁業被害が発生した プランクトンです。 ○本種は中層・底層を中心に増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すことから、海面からの観察では海水の着色が判別しにくいプランクトンです。 ○このため、 海面が着色していなくても、魚介類の斃死を起こすことがあります ので、十分に注意して下さい。 ○また、 室内実験ではアワビは150個/mlで衰弱、死亡が確認 されています。

留意事項
○今後は、漁港内での蓄養は避けて、活け ^レ 出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。漁船の活け間内のスカッパを閉めて航行するなど、赤潮を含んだ海水が流入しないよう注意してください。
○なお、県は引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生・魚介類のへい死などが確認された場合は、漁協を通じて関係市・農林水産事務所水産部に速やかに通報してください。
○また、赤潮による漁獲物のへい死等については、漁業被害救済基金の対象となる場合がありますので、漁獲物の処分等を行わず(被害数量等の確認が必要のため)、速やかに漁協を通じて関係市町・農林水産事務所水産部に通報してください。

※県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。
→<https://www.pref.vamauchi.lg.jp/soshiki/108/21929.html>

令和5年度赤潮警報第4号
【カレニアキモトイ】

